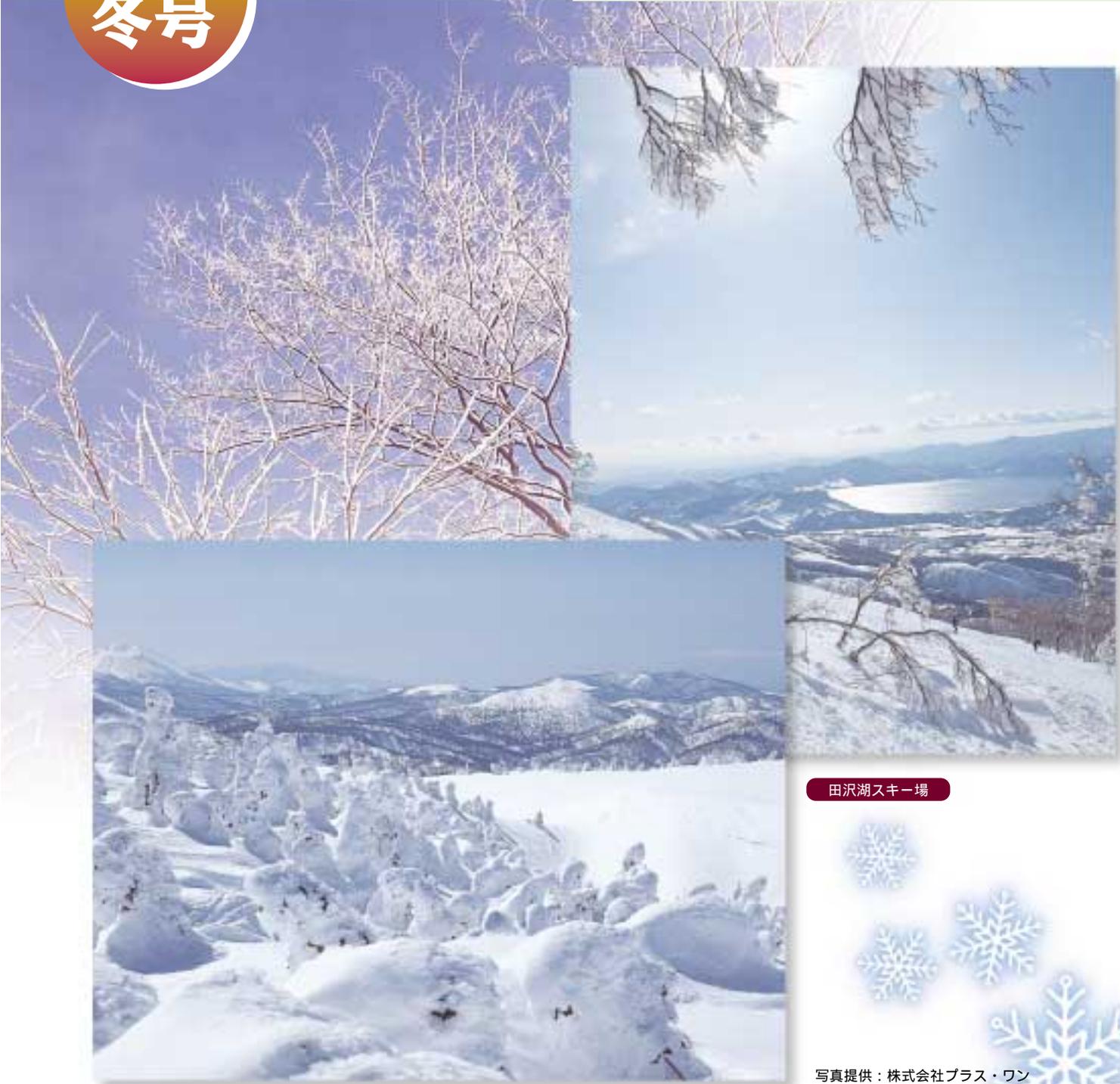


2005
冬号



田沢湖スキー場

八幡平の樹氷

写真提供：株式会社プラス・ワン

目次

第5回あきたエコ&リサイクルフェスティバル開催！	2 ~ 3
平成17年度「環境大賞」受賞事例	4 ~ 5
輪が広がっています！ ~あきた環境優良事業所の皆さん~	5
会員活動紹介・トピックス・お知らせ	6 ~ 8



2005

第5回 あきたエコ&リサイ

平成17年10月1・2日の土日、秋田駅前アゴラ広場周辺で、「手をつなぎ みんなでつくろう環境あきた」をテーマに、第5回のあきたエコ&リサイクルフェスティバルが行われました。43の企業、行政、団体、大学などの出展があり、秋田県の環境保護・保全活動について楽しみながら触れ合い、学ぶ場になりました。1日目は大雨にたたられ、開催側も来場された方々もかなり大変な目にあいましたが、2日目は、どうにか終了まで雨に待ってもらいました。

開会は秋田市立川尻小学校のプラスバンド演奏と子どもエコクラブの皆さんの元気な開会宣言で始まり、橋鑛司実行委員会会長の開会あいさつ、秋田県環境大賞表彰式、あきた環境優良事業所認定事業所紹介並びに認定証交付式、同和鉱業グループへの感謝状贈呈式がありました。

会場では、いろいろな体験コーナーやステージイベント、工夫を凝らした出展ブースなど盛りだくさんの内容で、参加者は思い思いに楽しんでいました。

1日目は、悪天候ながらも、若さを誇る大学生ブースでは、子供たちと熱気あふれる触れ合いがあり、その後の白熱した大学生対抗クイズ大会では、かなりの難問に正解する大学生たちへ、観客から賞賛の目が向けられていました。

2日目は、ちびっ子大人気のヒーロー登場で「環境を考えない悪者をやっつける」と、親子で大盛り上がり。この子供たちの未来に「美しい秋田」「温暖化のない地球」を残したいと思う瞬間でした。

ことしは、平成19年開催予定の「秋田わか杉国体」マスコット「スギッチ」を本物の杉の葉っぱでつくってみようという杉の香りの漂うコーナーが初登場。お隣のツルでつくるリースコーナーも自然素材の香りで癒し空間になっていました。また、美しい青い地球をイメージして自分だけのミニ地球儀をつくるコーナーでは、大人も子供も一生懸命細かな作業をし、その出来栄に満足げな様子。

企業出展の同和鉱業グループのブースでは、リサイクルで取り出された金銀の延べ棒が展示され、おっかなびっくり持ち上げてみるという体験ができました。

当法人も秋田県地球温暖化防止活動推進センターとして「エネルギーのかばん」を展示し、一人が一日で使っているエネルギーを重さとして実感してもらいました。

あきたエコ&リサイクルフェスティバル実行委員会では、楽しみながら参加し、環境を守る大切さを考えるきっかけづくりをということで、このフェスティバルを開催しています。楽しさと同時に、何か持ち帰っていただけたのではないかと主催者一同思っています。

両日イベント

- みんなおいでよ!!体験コーナー
- ・木工工作教室
- ・ソーラーカー工作教室
- ・牛乳パックの紙すきリサイクル・絵手紙教室
- ・エコ石鹸コーナー
- ・エコタワシ作りコーナー
- ・地球儀をつくろう
- ・秋田の生物コーナー

- 縁日広場
- 飲食屋台広場
- 会場クイズラリー

ステージ内容

- 10/1(土)
- プラスバンド演奏(川尻小学校)
 - 環境大賞表彰式
 - あきた環境優良事業所認定式
 - チャリンコ発電競争
 - 国際教養大学 留学生によるエコトーク
 - エコマークストラックアウト
 - 超難解!大学生エコクイズ王決定戦

- 10/2(日)
- マジレンジャーショー
 - 環境貯金箱作戦キャンペーン
 - ゴミを分けよう!フリースロー大会
 - スチール缶釣り大会



川尻小学校プラスバンド



旭川小学校子どもエコクラブ



橋実行委員長 開会あいさつ



秋田県環境大賞受賞表彰式



あきた環境優良事業所の皆様



同和鉱業グループ

クルフェスティバル開催!

出展企業・団体の一覧(出展内容)

(順不同)

企業・団体名	出展内容	企業・団体名	出展内容
同和鋳業(株)グループ	家電・金属リサイクル等紹介	東日本旅客鉄道(株)	JR鉄道部品&オリジナル加工品展示、環境報告書の配布
秋田環境開発機構(株)	新製品の展示、砂絵体験	日本大昭和板紙東北(株)	紙リサイクルのパネル展示、紙ひも使用の推進
秋田県浅層暗渠協会	パネル展示	(株)販促	環境ISO14001に基づく『地域に密着した環境ボランティア活動』
大成ロテック(株)	リサイクル認定製品ウッドファイバー展示	(財)秋田県物産振興会	有機栽培米を使用したお酒の試飲・販売
(有)クリーンカンパニー	パネル展示、リサイクル認定製品展示	積水ハウス(株)秋田[営]	人にやさしい素材の家づくり
(株)ウッディさんない	リサイクル認定製品展示	(株)秋田放送	デジタル放送にむけて
(株)ダイナミック・サニート	環境配慮した害虫駆除	三傳商事(株)	家庭用風力、太陽光ハイブリッド発電・システム等の展示
アドバンスクラブ秋田	車の環境汚染防止整備システム紹介	(財)東北電気保安協会	パネル展示
日本郵政公社	臨時郵便局	暮らしを考える女性の会	マイバック展示・販売等
はりま建設(株)	住宅用太陽光発電システム紹介	市民風車の会あきた	活動広報
(株)秋田ガイドー	緑の募金自販機の提案	あきた環境カウンセラー協議会	パネル展示、アトラクション
(社)秋田県緑化推進委員会	パネル展示	NPO法人環境あきた県民フォーラム	あきた環境優良事業所認定制度の紹介等
コクヨ東北販売(株)秋田支店	環境対応の文具・事務用品展示	森林環境対策室	木工クラフト教室、木工彫刻実演、スギの枝葉によるスギッチ製作
東光産業(株)	「活性白神水」紹介、販売等	森の案内人協議会	同上
NTT秋田グループ	携帯リサイクル、ソーラーウイング展示	藤里町ぶらすの会生活学校	牛乳パックの紙すき教室
東北電力(株)企業グループ	環境クイズ実施、パネル展示	全日本俳画穂有会	紙すきはがきを使った絵手紙教室
(株)西武百貨店 ほんきん西武	生ごみ処理機・発砲スチロール溶融機紹介	二ツ井町連合婦人会	エコ石鹸づくり実演
(株)自然科学調査研究所	昆虫標本展示、水槽展示	秋田市環境部	環境貯金箱、ごみ減量、アンパンマン等アトラクション
(株)ビッグ	古紙リサイクル「はちろう君」展示	秋田県畜産振興課	循環型農業の紹介
(株)能代製紙	リサイクルトイレットペーパー展示	秋田大学	二酸化炭素濃度の測定、水溶液のPH測定等
日本たばこ産業(株)	クリーンアップ運動	秋田県立大学	環境を学ぶ的あてゲームの出展
秋田ウッド(株)	リサイクル認定製品、AO-Mwood・デッキ・フェンス等展示	国際教養大学	世界各国のごみ事業紹介

協賛

(順不同)

同和鋳業(株)グループ	東光産業(株)	(株)木村土木	太平洋石油販売(株)大曲浜町SS
秋田県鋳業会	秋田リコー(株)	日本大昭和板紙東北(株)	五十嵐印刷(株)
東日本旅客鉄道(株)秋田支社	(株)自然科学調査事務所	秋田清酒(株)	秋田県牛乳普及協会
秋田県浅層暗渠協会	(株)ビッグ	(株)大林組	ヤマト運輸(株)
はりま建設(株)	(株)能代製紙	(株)竹中工務店	(株)フジフードサービス
(社)秋田県産業廃棄物協会	秋田ウッド(株)	清水建設(株)	(株)FM秋田
(財)秋田市総合振興公社	(株)秋備 男鹿事務所	秋田テレビ(株)	(株)デンソー東北
エヌエス環境(株)秋田支店	日本たばこ産業(株)	ヴィジュアルスペース	富士フィルムイメージング(株)
(株)ダイナミック・サニート	農林中央金庫秋田支店	秋田シール印刷(株)	鹿島建設(株)
マックスパリュ東北(株)	(社)秋田県看護協会	(株)佐藤印刷	(株)コアテック
日本郵政公社秋田県庁構内郵便局	(社)秋田県緑化推進委員会	秋田ゼロックス(株)	不動建設(株)
大成ロテック(株)	北都銀行	秋田朝日放送(株)	那須電機鉄工(株)
横手運送(株)	秋田銀行	(株)奥村組	
北日本通商(株)旧秋田プラリサイクル)	JA全農あきた	大成建設(株)	
(有)エスコ	(有)ポーランド・(有)十和田湖高原ファーム	グリーンホテル大曲	



大学生エコクイズ王決定戦



ぼくの地球をつくってます



間伐材のハガキにスギッチが...

平成17年度「環境大賞」 受賞事例



受賞者の皆さん

受賞者・活動事例の名称	活動事例の概略
<p>秋田市立旭川小学校 6年部 「総合的学習の時間におけるこどもエコクラブ活動の導入」</p>	<p>平成15年、当時の4年生の児童・教師で「こどもエコクラブ」を結成し、「総合的な学習の時間」の中で、自ら率先して環境活動に取り組み、現在に至るまで、市域の環境学習の先導的な役割を果たしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習の成果をまとめたものをもとに秋田市が「見つめよう 広げよう マイリバー旭川」を発行した。 ・平成17年度は、旭川流域や仁別国民の森などをフィールドとした自然調査等の環境学習を継続するとともに、クリーンアップの実施など環境活動を自発的に行っている。
<p>山内村(現横手市)立山内中学校 自然観察グループ 水質調査班 「横手川上流域における水質調査活動」</p>	<p>平成4年に、山内村(現横手市)を流れる川の水質調査で、川が年々きたなくなっている現状が報告されたことから、自分たちで何とかしなければならないという気持ちが生まれ、以降12年間、山内の川について調査を続けてきた。主な調査方法は、水生生物の分布による河川の水質調査とパックテストによる化学的な水質調査である。毎年調査結果を発表し、地域の河川の保全を呼びかけている。</p>
<p>大仙市立豊成中学校 生徒会 「空き缶出張回収」</p>	<p>平成13年以來、空き缶を回収した収益金で老人福祉施設に車椅子を寄贈する活動を継続している。</p> <p>平成15年までは、生徒たちが学校に缶を持ってきたり、夏休み中などに地域で空き缶回収活動を1度行ったりしてきたが、昨年度から週1回、生徒会役員を中心とした回収メンバーが地域の施設・企業・商店等を巡回し、空き缶を回収している。</p> <p>昨年度の収益金合計は前年までの額を大きく上回り、車椅子を寄贈して残った分は、地震の被災者に寄付をした。</p> <p>この「出張回収」は地域に定着し、2年目の今年度は昨年を大きく上回るペースで空き缶の回収が進んでいる。</p>
<p>北小屋 ボランティアグループ 「『野際しず』を守り、子どもたちに引き継ぐための活動」</p>	<p>地域にある貴重な湧水と絶滅危惧種イバラトミヨを守り、子どもたちに引き継いでいこうと、平成13年9月に結成された。</p> <p>イバラトミヨの住む湧水の整備を行い、年5～6回清掃や草刈りなどの維持管理を行っている。</p> <p>また、千屋小学校で児童が整備したビオトープにも協力している。</p> <p>湧水とイバラトミヨについては、今後自治会を中心に地域住民みんなで保全していく方向へ動き始めている。</p>



特定非営利活動法人
白神ネイチャー協会
「ブナの森 海の森
ニツ森づくり」

平成9年5月に協会を設立。平成16年12月にNPO法人に移行。
元来ブナ林であった世界自然遺産区域に隣接する造林地にブナの森を復元するため、毎年ブナの実等を採取して3年間苗木養成し、それらを植栽地に植樹することを繰り返している。植樹活動には全国の植樹ボランティアを募集し、自然環境を大切にすることの大切さを普及啓発することに努めている。
また、真瀬川河口付近の海の様子を調査し、数十年後に海がどのように変化したか比較研究するための資料作りをしているほか、平成16年度からは「緑の回廊を日本海まで」を実現するため、スギ林をブナ等の広葉樹林に変えるべく努力している。



麓友会
「遊水の里づくり」



昭和63年に10名の会員で発足。
横手川の源流域としてきれいな水と緑を守り、これらの資源を活用するとともに伝統文化を復活させ、他地域との交流により元気な集落を目指すことを目的に次の活動を実施している。

- ・砂防堰堤の堆砂地に水芭蕉を植栽
- ・桑の木沢川のクリーンアップと除草の実施
- ・養殖した岩魚を活用した溪流祭りの実施
- ・河川環境管理財団の助成を受けて水車を建造し、蕎麦を製粉
- ・水車で発電を行い、イルミネーションを通年点灯している
- ・水車広場の整備・維持管理を行い、小学生の体験学習や環境教育の場として活用してもらっている



輪が広がっています! ~ あきた環境優良事業所の皆さん ~ 認定事業所紹介並びに認定証交付

あきた環境優良事業所認定制度もスタートしてから1年半経過しました。秋田県版ミニISOといったもので、事業所が環境保護保全に配慮した取り組みをすることを申請し、その活動を認定、助言していくという制度です。昨年のフェスティバル以降、多くの事業所が認定を受けておられます。平成17年10月1日、第5回あきたエコ&リサイクルフェスティバルで、平成17年2月17日に認定された事業所のご紹介と9月2日新たに認定された事業所へ認定証の交付を行いました。



あきた環境優良事業所の皆さん

《今回のフェスティバルで認定事業所・紹介事業所一覧》

ステップ2

羽州観光開発(株)象潟シーサイドホテル(にかほ市) ダイワ工業(株)(にかほ市)

ステップ1

東光バイオテック(株)(大館市)
のしるエネルギーサービス(株)(能代市)
東光コンピュータ・サービス(株)(大館市)
㈱秋田電気管理センター(秋田市)
秋田県電気管理技術者協同組合(秋田市)
自然療法整体院(にかほ市)
三和精鋼(株)(にかほ市)

ナチュラル社(能代市)
㈱ルーラル大潟(大潟村)
大辰工業(株)(にかほ市)
マミヤ精密(株)(にかほ市)
サロン・ド・ローマ(北秋田市)
秋田協同印刷(株)(秋田市)
アゼル・ヘア&エステ(由利本荘市)
㈱サン・ねむの木(にかほ市)
㈱梅菱建設(由利本荘市)



山本理事長から皆さんへ感謝

また、認定1年後の取組結果報告をいただいておりますが、それぞれ工夫を凝らした取組の結果、着実に成果が上がっているということです。タバコ自販機は必要時のみ電源を入れるなど、目からうろこの知恵を教えてくださいました。コスト削減、環境保護、地球温暖化防止を、「あきた環境優良事業所認定制度」を利用して実現していただきたいと思います。

「旭川清流友の会」の前身は、「秋田市旭川鮎釣同好会」で昭和51年に57名で発足し、平成8年に「旭川清流友の会」と改称しました。翌昭和52年には、一回目の稚鮎の放流が行われ、昭和60年を除き今日まで毎年稚鮎の放流事業が行われています。また、秋田市クリーンアップに参加協力をすると共に、本会独自に4月には、旭川上流域（松原橋～藤倉地区）の空き缶回収クリーンアップ作戦を実施しています。これらの環境衛生事業が認められ、本会は、旭川上流地区町内会長感謝状（昭和63年）、秋田保健所長表彰（平成元年）、秋田県知事表彰（平成2年）、優良環境団体表彰（平成15年）等を受賞し、地域の環境衛生に微力ながら貢献してきました。

本会の組織及び目的は、旭川の清流に親しみ、鮎釣り等の愛好者及び本会の趣旨に賛同する者をもって組織し、会員相互の親睦を図ると共に各種の行事を通じて一般市民の健全な余暇利用及び環境の保全に貢献することです。

現在会員は65名ですが、年齢構成が50代、60代と高齢化が進みパワー不足が心配です。今後、環境保全保護活動を続けていく上で、若い方々の入会が待たれます。また、この活動、稚鮎の放流、鮎の友釣りを通じて年代の差を感じさせない会の運営を図ることが今後の会の発展につながると確信しています。

今後も空き缶回収、クリーンアップ、稚鮎の放流等を通じて旭川が市民の憩いの場として活用できるよう環境保全保護にも微力ながら会員一同努力しなければ、との思いであります。「県都を流れる旭川の清き流れを守ろう！」



稚鮎の放流



鮎釣り大会表彰式



空き缶回収作戦

トピックス Topics

連絡先 事務局：〒010-0931秋田市川元山下町5 - 3
チサンマンション山王南305（庄司）

能代山本地区の取組

平成17年11月17日（木）能代市で「能代山本環境交流フォーラム2005」が開催されました。「地域の環境保全活動への若い世代の参加について」をテーマに、能代山本環境交流会議（会長：進藤偉美さん 事務局：山本地域振興局福祉環境部）が情報の共有や交換を目的として開いたものです。

環境カウンセラー小山澄子さんが、社会人講師として日ごろ中高生へ接している経験から「中高生への環境教育について」講演を行いました。日本には茶道、華道といった基本動作を身につける文化があるが、小・中の9年間のうちに「環境道」として自然に環境保護を身につけていくことが望ましいこと、そのためには、学校の先生たちや、地域の方々の連携と協力が、とても大切で欠くことができないというお話に、会場では納得の表情の参加者が多くいらっしゃいました。

事例発表では、マイバッグキャンペーンに参加した能代市立竹生（タコウ）小学校の皆さんが、地域でのアンケート結果について、79%が買物袋を持参しないし、50%はレジ袋は便利だから欲しい、93%は後の使い道はゴミ袋と答えたという報告をし、もっとマイバッグ運動が広がればいいなあと思いを発表しました。

また、こどもエコクラブ「八森エコ探検隊」で小2から中3まで活動した工藤尚弥さん（能

代高校1年）は、祖父の指導のもと、ゴミ拾いから始まっているいろいろな実体験をしたことや350年ブナの大木についた熊の爪あとを発見したときの感動について発表し、ふるさとの良さを知らなければそれを伝えることはできないと呼びかける姿から、八森町が素晴らしい環境と人材に恵まれていることが、よくわかりました。

その後、県環境あきた創造課長の杉本俊比古さんをコーディネーターに、小山澄子さん、熊谷一さん（鹿渡小学校長）、工藤哲弥さん（八森エコ探検隊サポーター）、小松朗さん（ルーベの会会長）により、いかにして若い世代の参加を促すかというパネルディスカッションが行われました。子供たちへの環境教育の必要性や、中学校での部活動による忙しさがネックになるなど課題があること、地域や学校などの連携の必要性などが改めて確認されました。

最後に、ブナの植樹活動を続けているNPO法人白神ネイチャー協会が平成17年度の秋田県環境大賞受賞報告で、100年を目標に活動を続けていくという力強い話をされました。



工藤尚哉さん



竹生小学校の皆さん



パネルディスカッション

「ギョウジャンニク」何という不思議な植物、不思議な山菜であろう。私の住んでいる大仙市の、通称西山周辺に生えているこの植物は、子供の時から山奥で育ちほとんどの山菜を知っているつもりなのに私にとって唯一知らなかった、食べたことのない山菜である。これがそれほど大した山とも言えない西山に生育していることが理解できなかった。そしてあの味覚、ニンニクに似てニンニクではない、ニラにも似ているが違う。葉をとって揉んで臭いを嗅ぐとまさしくニンニク臭がする。

ギョウジャンニクは「秋田県版レッドデータブック植物編2002」によると「絶滅危惧種 類 (VU)」にランクされている。これは「絶滅の危険が増大している種で、現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧種 類」のランクに移行することが確実と考えられるもの」と定義されている。

ギョウジャンニクの分布は、本州の近畿以北、北海道、千島、サハリンなどとされており、秋田県内では森吉山系、八幡平山系、男鹿半島等の海岸と大仙市の西山地域などで確認されている。北海道では代表的な山菜の一つで湿地や林床などに多く、本州では深山の沢沿いとその斜面に多い。秋田県における生育はかなり限られており1000m前後の群生地もあるが、一般には小規模な群落状に生育していることが多い。発芽してから採取適年まで5～6年かかるとされ、自然条件における増殖力が弱い。近年ではスーパーマーケットなどに早春の山菜として売られているが、大量に採取することは慎むべきである。現に男鹿半島や大仙市の西山は減少が著しい。

さて、寒冷地を好み、その多くが深山にあるとされるギョウジャンニクが、なぜ標高300m前後の大仙市西山地域に生息しているのか大いに興味を覚え、ルーツを探るべく流域の新たな生息地を見つけたいと考え、深山をあっちこっちと歩いてみることにした。その結果、標高600～800m程度の沢の小規模な河岸段丘に数カ所の生育場所を見つけることができた。それは、今年の4月中旬に全く初めての場所で湿地を流れる小沢の岸辺に生育するナラの大木の根元に群生していたものであるが、そこだけ雪が消えた木の根元の緑は雪深い厳しい環境の中でまぶしいほどの凛とした姿であった。



ギョウジャンニク

これは、今年の4月中旬に全く初めての場所で湿地を流れる小沢の岸辺に生育するナラの大木の根元に群生していたものであるが、そこだけ雪が消えた木の根元の緑は雪深い厳しい環境の中でまぶしいほどの凛とした姿であった。

ギョウジャンニクは「秋田県立自然公園指定植物」としての保護対策が講じられているが、これに該当する生息地は限られており、採取は野放し状態と言ってよい状況である。私たちは、これからも地道なルーツ探しと節度ある採取への取組を実践していきたいと考えています。

連絡先：〒014-0044 秋田県大仙市戸蔭字谷内添102番地
Tel: 0187-63-3424 Fax: 0187-63-6601
URL <http://shizenkagaku.co.jp/>



岩谷さんの出前講座

平成17年10月3日(月) 秋田市立勝平小学校5年生140名対象に気象予報士の岩谷忠幸さんが「ちきゅうおんだんか」と題した出前講座を行いました。

まだ木の香りのする新しい校舎の体育館で、スクリーンを使ったインパクトのある地球温暖化についての授業は、クイズや実験を織り交ぜており、子供たちは楽しみながら、熱心に学習しました。



クイズの答えは？

今回は、岩谷さんが所属するNPO法人 気象キャスターネットワークが1年間に全国で100校へ行く予定の出前講座のうちの1校ということで、実現しました。

地球温暖化が進むとどうなるんだろう...という問いかけで、秋田市の真夏日が今は、1年間で16日だけれども、2100年

には54日までふえること。砂浜の温度が上がり過ぎるとウミガメの卵は孵化しなくなる。南の島国ツバルでは、海面が上昇して、もう住めなくなってきたことなど、映像を使って子供たちへ伝えました。

クイズの中で、いろいろな節約方法があるけれども、一家がそろって一部屋で過ごすことが一番のエネルギーの節約になるという答えがあり、最近の家庭事情を考えると、とても風刺的で、大人としては反省しきりでした。

最後に「君たちが家の中の温暖化防止のリーダーになってほしい」という岩谷さんの言葉に、子供たちからは「いろいろなことを知ってびっくりした」「今度から袋を持って買物に行く」などの力強い発言が出て、頼もしい限りでした。

秋田市立勝平小学校は
<http://www.edu.city.akita.akita.jp/kth-s/index.html>



ここは何度？



めざせ国体クリーンアップ作戦!

9月28日(水)15:40から30分間、能代市の能代総合体育館周辺で「めざせ国体クリーンアップ」作戦が行われました。参加は、能代工業高等学校、能代市、山本地域振興局福祉環境部、環境あきた創造課です。能代工業高等学校からは、バスケットボール部、バレーボール部、剣道部、柔道部の80名強の屈強なアスリートの皆さんが、このクリーンアップに協力してくれました。



ごみが小さく見えま〜す

バスケットボール部の加藤監督自ら陣頭指揮に立ち、小さなゴミから大きなゴミまで、ていねいに拾ってくれました。

また、29日(木)前後1週間は、

「ごみゼロ運動推進交流会議」によるクリーンアップが能代港湾沿線で行われています。「ボイステマモデルゾーン」の看板は「アダプト制度」で道路美化活動を実施するごみゼロ運動推進交流会議が設置したもので、港湾道路を会員企業や自治会で分担して、ゴミのポイ捨て防止に取り組んでいるものです。



目立つはずなんだけど

- 「ごみゼロ運動推進交流会議」会員(14団体)
- ・能代運輸(株) ・東北木材(株) ・(株)ダイニチ
 - ・東北東ソー化学(株)能代工場
 - ・ハイテクウッド(株)能代港工場
 - ・東北電力(株)能代火力発電所 ・(株)水葉工務店
 - ・(株)塚本油店 ・能代市下浜自治会 ・(株)鈴光
 - ・能代木材工業団地協同組合 ・秋田県能代港湾事務所
 - ・中田建設(株) ・大豊建設(株)

市民風車誕生記念! 自然エネルギーセミナー

市民風車「天風丸」(渦上市天王)に続き、秋田市の向浜と飯島に2機の風力発電所が建設されることを記念しまして、標記セミナーを開催いたします。

日時: 2005年12月4日(日) 13:30~15:00
場所: 秋田市文化会館 第二会議室 入場無料です
プログラム

- 1) 基調講演「市民風車がつくる未来」 長谷川公一氏(東北大学大学院教授)
- 2) パネルディスカッション 地域の自然エネルギーを活かそう!

コーディネーター: 長谷川公一氏
パネリスト: 山本久博(環境あきた県民フォーラム理事長) 鈴木 亨氏(北海道グリーンファンド事務局長) 笹尾千草氏(アートスペース コラボラトリー代表)
主催: 市民風車の会あきた 共催: NPO法人北海道グリーンファンド

問い合わせ・申し込みは.....

市民風車の会あきた
〒010-0943 秋田市川尻御休町4-21
TEL:018-863-0800 FAX:018-862-6365
e-mail: e-wind@hots.jp
風車の愛称を募集しています!!(対象は小学生と保護者) 締め切りは12月25日

STOP! 地球温暖化 in あきた 開催

止まらない地球温暖化...温暖化による気候変動で都市が凍る「ディ・アフター・トゥモロー」無料上映
平井信行氏(気象予報士)のテーマトーク「気候変動」

日時: 2005年12月17日(土) 午後1時~ 場所: 秋田市文化会館大ホールにて

申し込みが必要 締め切りは12月5日
申し込み方法: 往復ハガキ、FAX、E-メールのいずれか(電話の申し込みは、ご遠慮ください)

主催(申し込み先): 秋田県地球温暖化防止活動推進センター NPO法人環境あきた県民フォーラム
〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2遊学舎内
FAX: 018-839-8309 URL: <http://www.eco-akita.org/index.html>



100万人のキャンドルナイトinあきた 2005冬至

100万人のキャンドルナイトinあきた実行委員会では、2005年12月22日冬至の夜、キャンドルを灯してスローな夜を、あるいはライトダウンキャンペーン実施の呼びかけをしています。規模の大小、活動のスタイルは問いません。ぜひ参加してみてくださいか?

関連情報ブログ

<http://blog.goo.ne.jp/candle-akita/>
連絡先 TEL/FAX: 018-866-1559
E-mail: sasao@cocolab.net
コラボラトリー内 笹尾

入会について あなたも参加しませんか

未来の子どもたちのために、秋田の環境をよりよくしていこうという活動の応援団です。当法人の活動やこのフォーラム通信発行のために会費を負担していただいています。

会費

区分	社員	一般会員
企業・企業関係団体	1口:1万円 年1口以上	1口:1万円 年1口以上
個人・民間団体	1口:3千円 年1口以上	1口:1千円 年1口以上

会費納入について

秋田銀行 県庁支店 普通 560425 北都銀行 山王支店 普通 6099633
郵便振替口座 02280-7-76146

いずれも特定非営利活動法人 環境あきた県民フォーラム宛です。

なお、フォーラム通信送付の都合上、銀行振込の場合は事務局にご住所、お名前をご連絡ください。

NPO法人 環境あきた県民フォーラム 秋田県地球温暖化防止活動推進センター ACCCA

〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学舎(秋田県ゆとり生活創造センター)内
TEL・FAX 018-839-8309 Eメール mail@eco-akita.org ホームページ <http://www.eco-akita.org/>

ストップ! 温暖化

事務局から

怒涛のような秋が過ぎ、天気予報に雪だるまマークが出てきた。ことしは地球温暖化防止活動推進センターの活動が始まったけど、どのくらいの効果があるのか...と聞かれるのが困る(o_ _)o
カリスマ性充分などなたか、温暖化防止教って宗教の教祖になっくんないかなあ...

クイズの答え

クイズ1... (節水シャワーヘッドに交換するだけで、かなりの節水になります)
クイズ2... (日本は3 近く上がる予想)